

社会資本総合整備計画 中間評価書

令和04年03月10日

計画の名称	世界初の営業運行となるDMVを軸とした観光による徳島県南部及び高知県東部地域活性化計画												
計画の期間	平成30年度～令和04年度（5年間）								重点配分対象の該当				
交付対象	徳島県												
計画の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>人口減少の進む、徳島県南部及び高知県東部の県境にある「阿佐東地域」において、線路と道路の両方を走ることが可能なDMV（デュアル・モード・ビークル）の「世界初」となる本格的営業運行を目指している。</li> <li>DMV導入に合わせ周辺道路等の面的整備を実施することで、徳島県南部と高知県東部とのシームレスな交通体系と広域的な観光ルートを形成し、交流人口の増加による地域社会の維持および活性化を図る。</li> </ul>												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	1,166	A	1,166	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H28	H32	H34
1	<b>【徳島県・高知県 共通目標】</b> 阿佐海岸鉄道阿佐東線の年間乗客数を4.4万人（H28）から5.5万人（H34）に増加（1.1万人（25%）の増加） 阿佐東線年間乗客者数を測定する。 （阿佐東線の年間乗客数増加率）=（評価時点の年間乗客数-H28の年間乗客数） / （H28の年間乗客数）	44000人／年	50000人／年	55000人／年
2	<b>【徳島県・高知県 共通目標】</b> 阿佐東地域におけるDMV観光ツアー客数を0千人（H28）から2千人（H34）に増加（2千人（皆増）の増加） 阿佐東地域におけるDMV観光ツアー客数を測定する。 （阿佐東地域におけるDMV観光ツアー客数の増加数）=（評価時点の阿佐東地域におけるDMV観光ツアー客数）-（H28の阿佐東地域におけるDMV観光ツアー客数）	0人／年	2000人／年	2000人／年
3	<b>【徳島県 単独目標】</b> 徳島県南部地域（7拠点施設）における観光入込客数を12.3万人（H28）から14.8万人（H34）に増加（2.5万人（20.0%）の増加） 徳島県南部地域（7拠点施設）における観光入込客数を測定する。 （観光入込客数の増加率）=（評価時点の観光入込客数-H28の年間観光入込客数） / （H28の年間観光入込客数）	123000人／年	135000人／年	148000人／年

備考等	個別施設計画を含む	—	国土強靱化を含む	—	定住自立圏を含む	○	連携中枢都市圏を含む	—	流域水循環計画を含む	—	地域再生計画を含む	—
全体事業費に占める提案事業割合は、5.2%となる。												

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H30	H31	R02	R03	R04				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
広域連携事業	A11-001	道路	一般	徳島県	直接	徳島県	都道府 県道	改築	(主) 阿南鷲敷日和佐線 (北河内工区)	線形改良 L=0.18km	美波町	■	■	■	■	■	117		—	
		路盤含む																		
	A11-002	道路	一般	徳島県	直接	徳島県	都道府 県道	修繕	(主) 日和佐小野線（奥 河内～恵比須浜工区）	舗装補修 L=2.5km	美波町		■	■	■	■	150		—	
		路盤含む																		
	A11-003	道路	一般	徳島県	直接	徳島県	都道府 県道	修繕	(一) 日和佐牟岐線（奥 河内～山河内工区）	木製ガードレール L=3.4km	美波町	■	■	■	■	■	50		—	
		路盤含む																		
	A11-004	道路	一般	徳島県	直接	徳島県	都道府 県道	修繕	(一) 日和佐牟岐線（奥 河内～山河内工区）	法面対策 L=3.0km	美波町	■	■	■	■	■	150		—	
		路盤含む																		
	A11-005	道路	一般	徳島県	直接	徳島県	都道府 県道	修繕	(一) 日和佐牟岐線（山 河内工区）	舗装補修 L=3.2km	美波町	■	■	■	■	■	100		—	
		路盤含む																		
	A11-006	道路	一般	徳島県	直接	徳島県	都道府 県道	修繕	(一) 中部山溪藪公園線 (平井～小川工区)	法面対策 L=1.0km	海陽町	■	■	■	■	■	250		—	
		路盤含む																		
	路盤含む																			

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H30	H31	R02	R03	R04			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
広域連携事業	A11-007	道路	一般	徳島県	直接	徳島県	都道府 県道	修繕	(一) 金目穴喰浦線（穴 喰浦工区①）	法面対策 L=1.0km	海陽町	■	■	■	■	■	100	—	
		路盤含む																	
	A11-008	道路	一般	徳島県	直接	徳島県	都道府 県道	修繕	(一) 金目穴喰浦線（穴 喰浦工区②）	舗装補修 L=1.0km	海陽町		■	■	■	■	50	—	
		路盤含む																	
	A11-009	提案	一般	徳島県	間接	阿佐海岸鉄 道株式会社	—	推進事 業	DMVの線路から道路への結 節点の整備（阿波海南駅 ）	道路-線路モード変換設備	海陽町	■	■				29	—	
		路盤含む																	
	A11-010	提案	一般	徳島県	間接	阿佐海岸鉄 道株式会社	—	推進事 業	DMVとバス等との乗換拠点 整備（海部駅）	停車場整備	海陽町	■	■				24	—	
		路盤含む																	
	A11-011	提案	一般	徳島県	間接	阿佐海岸鉄 道株式会社	—	推進事 業	DMVとバス等との乗換拠点 整備（穴喰駅）	停車場整備	海陽町	■	■				8	—	
		路盤含む																	
	A11-012	道路	一般	徳島県	直接	徳島県	国道	修繕	(国) 国道193号（小 川工区）	法面対策 L=0.5km	海陽町			■	■	■	50	—	—
		路盤含む																	



中間評価

○中間評価の実施体制、実施時期

中間評価の実施体制 徳島県公共事業評価検討委員会	中間評価の実施時期 令和4年1月  公表の方法 徳島県ホームページ
-----------------------------	---

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定量的指標の基となる「DMV導入」については、令和3年12月25日に営業運行を開始</li> <li>・DMVが営業運行した直後であるため、効果の発現状況の把握はこれからとなる。</li> </ul>
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	特になし。

○特記事項（今後の方針等）

成果目標が達成できるよう、沿線自治体などの関係機関と連携し、DMVを活用した「利用促進」に関する取組みを進めていく。

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値	目標値と実績値に差が出た要因	
1	年間乗客数		
	中間目標値	50000人／年	計画策定時はDMVの運行開始時期を「令和2年度内」と予定していたが、新型コロナウイルスの影響による関係機関との協議の遅れや、世界初の本格営業運行となることから「安全性の確保」に期間を要したことなどから、運行開始時期が「令和3年12月末」まで遅延したことに因る。
中間実績値	0人／年		
2	観光ツアー客数		
	中間目標値	2000人／年	計画策定時はDMVの運行開始時期を「令和2年度内」と予定していたが、新型コロナウイルスの影響による関係機関との協議の遅れや、世界初の本格営業運行となることから「安全性の確保」に期間を要したことなどから、運行開始時期が「令和3年12月末」まで遅延したことに因る。
中間実績値	0人／年		
3	徳島県南部地域の観光入込客数		
	中間目標値	135000人／年	計画策定時はDMVの運行開始時期を「令和2年度内」と予定していたが、新型コロナウイルスの影響による関係機関との協議の遅れや、世界初の本格営業運行となることから「安全性の確保」に期間を要したことなどから、運行開始時期が「令和3年12月末」まで遅延したことに因る。
中間実績値	0人／年		

(参考様式) 参考図面 (社会資本総合整備計画 広域連携事業)

